

ダム守同心情報連絡票(第41号)

この情報連絡票は、灰塚ダムのダム守同心の方々並びに関係者の皆様に三次河川国道事務所灰塚ダム管理支所から灰塚ダム及びハイヅカ湖に関する情報をお届けするものです。

1. 「第2回ハイヅカええと湖探^こし」を開催しました

「ハイヅカ湖地域ビジョン」の第2分科会は「自然との共生」をテーマとして、今後の里山環境の保全のための取組みを考えているところです。この度、第2分科会を中心として、湖面からハイヅカ湖周辺の魅力・課題等を発見・共有することを目的に、さる11月7日(土)にハイヅカ湖にて「第2回ハイヅカええと湖探し」を開催しました。

「ええと湖探し」ではEボート(10人乗りの大きな手漕ぎカヌー)を使って、田戸岬から湯谷大橋(三良坂町大谷)まで漕いでいきました。

当日は天気も良くライフジャケットを着ると暑いぐらいでした。田戸岬を出発し、まずは噴水をぐるりと1周し、モミジ山へ向かいました。途中バス釣りの人に手を振りながらモミジ山、灰塚大橋へと進んでいきました。下から見上げる灰塚大橋はとても大きく感じました。空を飛んでいる鳥を見たり、貯水池周辺のとてもきれいな紅葉を見たりしながら進みました。



Eボートにて「ええと湖探し」

参加者は、顔見知りの方々ばかりでしたが、息が合わず、まっすぐ進みません。それでも予定の時間より早く終点へついてしまったため、予定を変更してもう少し上流までええと湖探しを行いました。

ハイヅカ湖周辺はとても紅葉がきれいで、特に井原大橋付近は印象的でした。今回の取り組みで、「ハイヅカ湖周辺の良いところを探して名前を付けよう」という目標が決定しました。

2. ログハウスの利用について

三良坂町灰塚のコミュニティーセンターの隣にあるログハウス(国土交通省のぞみが丘分室)は、この12月より「ハイヅカ湖地域ビジョン」の様々な取組み(大谷ガードレールペイント、空苳菜特産化、ウェットランド団、マップ作り、抱きしめて笑湖ハイヅカなど)を促進する目的に限って、会議室や打合せ等の場として利用できることとなりました。以下の要領で申込を受け付けますので、「ハイヅカ湖地域ビジョン」の取組みを進めていくための場としてお気軽にご活用下さい。



- ①「会議室」「事務室」「和室」の3つに区分し、それぞれについて利用申込を受け付けます(申込順とします)。
- ②利用日・利用時間は原則平日、8:30～17:15に限るものとします。
- ③申込時に利用人数・利用目的・利用日時をお知らせ下さい。
- ④利用申込先:灰塚ダム管理支所 08 24-44-4360 まで

「ハイヅカ湖地域ビジョン事務局」の看板がつけました！

3. 貯水池内の樹木の伐採について

灰塚ダム管理支所では、この度ハイヅカ湖内の樹木の伐採を行います。

貯水池内には、ダムの安全性を確認する試験湛水時に、洪水時の最高水位(サーチャージ水位)まで貯水位を上げたため、水に浸かり枯れてしまった樹木が多数あります。これらは、風雨などにより、貯水池に倒れ込んだり、ダム湖に沈んで貯水池内の水質を悪化させる原因となったりします。

また、灰塚ダム管理支所やダム守同心の方々が日々、貯水池を巡視するにあたって、樹木等が邪魔をして、巡視の支障となっている箇所があります。

今回は、この様な箇所を中心に伐採を行うものです。

★灰塚ダム管理支所からのお願い

次のような希望をお持ちの方がおられましたら、灰塚ダム管理支所までご相談ください。

- ①貯水池内(河川内を含む)にある樹木を利用したいので伐採したい
- ②伐採された樹木を活用したいので、引き取りたい

※注意事項

- ・伐採、搬出等に要する費用は、基本的に希望者の負担とします。
- ・箇所によっては、伐採をお断りするところもありますので、予めご了承ください。

4. 12月24日(木)8:00現在のダム諸量

灰塚ダムでは、12月1日～4月30日の間、平常時最高水位(常時満水位)より上に貯留し、貯めた水を使ってフラッシュ放流を行います。水位を上げるために、常用洪水吐(オリフィス)にゲートをおろしています。

昨年と比べ、降雨・積雪が多いので昨年同時期より約4m、平常時最高水位より約1m水位が上昇しています。



- ・ ハイヅカ湖への流入水量は
毎秒2.18m³
- ・ ダムから下流への放流量は
毎秒1.76m³

となっています。

6. 本号の最後に

年末に寂しい話ではありますが、灰塚ダム管理支所の体制が来年1月より縮小されることとなりました。(非常勤職員がいなくなります。)

職員が全員、現場などで管理支所を空ける場合もできます。その際には、セキュリティの関係上、管理支所に鍵をかけて出ることとなります。電話については、不在の場合は三次河川国道事務所総務課へ転送される予定です。みなさま方にご不便をかけることともあると思いますが、ご容赦のほどよろしくお願い申し上げます。

さて私事ですが、この冬は暖冬かと思っていた矢先に大雪となり、久しぶりの雪道走行にははらしながら通勤している今日このごろです。子供たちは、本格的な積雪を経験するのは初めてなので、雪が降るのを待ちかねたように毎日、外で遊んでいました。私も子供と一緒にそり遊びやかまくらづくりをして、雪を楽しんでいます。

本年も残すところあと数日となりました。

本年は、渇水あり洪水あり、また中小出水の再現放流や洪水後期の早期放流などいろいろと経験させていただきました。

ハイヅカ湖地域ビジョンでは、「抱きしめて笑湖ハイヅカ」や「大谷ガードレールペイント」などのリーディングプロジェクトを皆様とともに取り組ませていただき、12月にはログハウスが地域ビジョンの会議室等として利用いただけるようになりました。

まだまだ十分でないところも多々あると思いますが、灰塚ダム管理支所一同、これからも地域の一員として邁進してまいりますので、来年もかわらぬご支

援をよろしく願いたします。

皆様方が良い年を迎えられることをお祈りしております(浜田)。

◇ 問い合わせ等連絡先 ◇

国土交通省 三次河川国道事務所 灰塚ダム管理支所

管理支所長 浜田 健一 (hamada-k87hg@cgr.mlit.go.jp)

事務係長 片山 直行 (katayama-n87hd@cgr.mlit.go.jp)

〒729-4302 広島県三次市三良坂町仁賀1575

電話:0824-44-4360(代) FAX:0824-44-3544